

学校だより

No. 7-5

平成28年1月15日

あすなろ

東松島市立大曲小学校

学校教育目標『心もからだも健康で 明るく力いっぱい生きる 子どもを育てる』

音楽集会「英語の歌に挑戦したよ」

今年も本校では、“歌声の響く学校”を目指します。

12月の歌は、「ドレミの歌」の英語版。(右)小学生には難しいところもありますが、どの学年も滑らかに歌えるようになりました。全校での音楽集会では、指揮の青木先生から、「少しぐらいの発音の間違いは気にせずに、大きな声で思いっきり歌ってみましょう」という言葉に励まされ、元気な声で音を響かせていました。途中、知っている単語があったりすると、突然声が大きくなる場面があったり、舌を上手に使いながら、LやRの発音も上手にできました。歌っているうちに、言葉も増えていきますね。今月は「友達のうた」お互いの気持ちが通じ合うように心を込めて歌うようにしたいものです。

Do-Re-Mi Doe, a deer, a female deer
Ray, a drop of golden sun
Me, a name I call myself
Far, a long, long way to run
Sew, a needle pulling thread
La, a note to follow sew
Tea, a drink with jam and bread
That will bring us back to Doe

(訳) ドウは 鹿, 雌鹿・レイは 金色の太陽の光・ミーは 自分で自分を呼ぶときの名前・ファーは 遠い, 走っていく長い道のり・ソーは 針で糸をひくこと
ラは ソに続く音符・ティは ジャムとパンに合う飲み物・そしてまたドウに戻る



台湾のテレビ局の方が来ました

昨年末、東松島市に支援を続けてきた台湾のテレビ局の方が大曲小を訪問。地元台湾でのテレビ番組制作のための撮影を行いました。小学校の授業の様子を見たいということで、まずは、6年生へ。算数のまとめのプリントを各自のペースで進めていました。スタッフの方は、二人の先生がてきぱきと児童の質問に対応したり、子どもたち同士で教え合ったりしている姿に感心したり、静かに取り組みながら、自分で採点し粛々と進める姿に驚いていました。(写真下) 続いて、1年生の教室へ。「ちょっと皆さんの歌声を聞かせてくれませんか」というお願いに、元気な返事で立ち上がると大きな声でドレミの歌・英語バージョンを披露。(写真右) カメラの方は、1年生とは思えないくらい発音も上手で、歌が体になじんでいますね・・と話してくれました。遠く台湾の地で、大曲小の元気な姿が画面から伝わったことでしょう。



富士山のふもとから大曲へ



十二月下旬に、山梨県河口湖にあるホテルの従業員の皆さんが大曲小を訪問されました。河口湖というところ、富士山のすぐふもとにある風光明媚なところ、山梨県は海がないものの、代表の方は、「私たちの住んでいるところも、どんな自然災害が起こるか分からない、富士山の噴火、豪雨による湖の増水や氾濫、近くの山の崖崩れなどいろいろなのが予想されます。そんな中で、先の震災の教訓を少しでも学んで帰りたい・・・」と話されました。

本校のパソコン室で、二十五名の皆さんが説明を受けました。本校教務主任の村上先生が当時の写真や今の子供たちの様子の写真映像を基に、震災直後に避難所となった学校での生活の様子、大曲地区の方が助け合って生活していたこと、全国各地から多くの方々の温かい支援があったことなどを話しました。

社員の皆さんは、とても真剣な眼差しでお話を聞いていただき、「どんなときでも、自然と向き合っていかなければならない。日頃の訓練という気持ちが大切だと思う」と話されました。

また、校庭で元気に遊んでいる児童の姿や、廊下や階段で元気に挨拶する姿に、『とても、明るく素直な子どもたちですね。この子どもたちが大きくくなって新しい故郷を作り上げるのも楽しみです』と話していただきました。

楽しかった「大曲出前講座」

12月17日、大曲市民センターで『大曲出前講座・親子でクリスマスオーナメント作り』が行われました。東松島市人材バンク登録・市内で工作教室を開いている遊佐真美先生の指導のもと、大曲小の児童と家族で楽しい飾り作りに挑戦しました。（※写真は、出前講座の様子。右は、出来上がった作品。→）

紙と竹を使って左右に色々な形の模様をつりました。バランスを取りながらたくさんの飾りを作ることができました。隣同士で見せ合ったり、出来上がった作品をみんなで眺めたり・・・と和やかな雰囲気でした。

今回、この事業を企画した菅井先生は、「地域の中の優れた技能を持った方が、このような機会を提供してくれることによって、親子の触れ合いはもちろん、子ども同士の交流、地域の活性化にも大いに役立つと思う」と話していました。次回17日（日）は、大曲出前講座第二弾・フラワーアレンジメント作りです。どんな作品ができるか楽しみです。



大曲地区自主防災会議

12月25日、大曲市民センターで大曲地区自主防災連絡協議会が行われました。本校からは、教頭と防災主任の齊藤教諭が参加。今年度の、東松島市の防災訓練の成果と課題を、大曲地区内の各担当者からの報告を基に話し合いました。（写真右）特に、本校でも実施した原子力防災訓練については、今回の震災を経験した地域でも、対岸の火事と考える方が多いという現状。また、大曲地区の防災については、集中豪雨等による定川の氾濫や堤防決壊の可能性、その場合の対応などについても意見が出されました。今後、地域対策本部を中心に、学校と連携しながら対策を進めることとなります。



※19日（火）は、矢本二中学区の「心あったかイートころ運動発表会」です。矢本二中を会場に、各校がこれまでの実践を発表します。本校の5・6年生全員が参加します。大曲小は、あいさつ運動や清掃活動の常時活動、児童会行事のスッタンタラッタ音ステージ・お掃除名人の取組の成果と課題を紹介します。